



ぶっく★まーく

編集スタッフのおすすめ

このコーナーでは、情報・図書コーナーの中から、本紙スタッフがピックアップした本を紹介しています。
この他の本も、ぜひご利用ください。※書籍下の番号はセンターでの検索番号です。



[300-2]

ストレスチェック時代のメンタルヘルス
—労働精神科外来の診察室から
2016年 新日本出版社
天笠 崇 (著)

義務化されたストレスチェック制度を更に活かしていくために書かれた本書。労使を問わず、ぜひ読んで知ってもらいたい。誰もが安心して働ける日のために。(ルナ)



[700-8]

DV・虐待 加害者の実体を知る
—あなた自身の人生を取り戻すためのガイド
2008年 明石書店
ランディ・バンクロフト(著) 高橋睦子 他(監訳)

1000名以上の加害者カウンセリングから見てきたDVの実体。精神的に相手を混乱させる思考過程を暴く。「まさかわたしが被害者？」というあなたにこそ読んで欲しい。(ルナ)



[900-6]

男が育休を取ってわかったこと
2014年 セブン&アイ出版
池田大志 (著)

半年の育児休暇を取った皮膚科医。生後六か月の娘と二人っきりで過ごす毎日には感動的シーンがいっぱい。でも相当なストレスも。素適なパパの育児記録。(みっと)

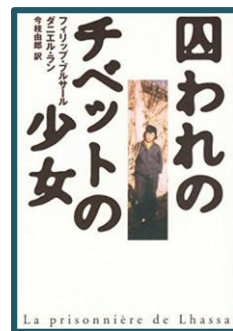


[1000-4]

おとなの始末

2015年 集英社
落合恵子 (著)

仕事、人間関係、暮らし、自分自身の「始末」。これらとどう向き合っていくか。「おとなの始末」とは…残された日々を存分に「生きる約束」だと著者は語る。(かかし)



[1100-3]

囚われのチベットの少女
2002年 トランスビュー
P. ブルサール/D. ラン (著)
今枝由郎 (訳)

11歳で投獄されたチベットの少女。繰り返される拷問に耐え、強靱な意志で平和を願い続ける。人が人を暴力で支配する時代が終わる日は来るのか？(みっと)



[1200-3]

いのちをむすぶ

2016年 集英社
佐藤初女 (著)

「森のイスキア」で、救いを求めて訪れる人に手料理をふるまい、寄り添う活動をしていた95歳の著者。生活の中で大切にしたいメッセージがフォトブックに。(かかし)

新着図書リスト (一部抜粋)

図書名	検索番号	著者	出版社
りすの四季だより	100-3	あんどうりす(著)	新建新聞社
ヨチヨチ父 とまどう日々	900-9	ヨシタケシンスケ(著)	赤ちゃん和妈妈社
がんばらない介護	1000-2	橋中今日子(著)	ダイヤモンド社
ラボ・ガール 植物と研究を愛した女性科学者の物語	1100-1	ホープ・ヤーレン(著)、小坂恵理(訳)	化学同人
ドリーム NASAを支えた名もなき計算手たち	1100-3	マーゴッド・リー・シェタリー(著)、山北めぐみ(訳)	ハーパーコリンズ・ジャパン

編集後記

ぶっくまーく編集委員をしていてよかったと思うことは「自分の好み以外の本とも出会える、客観的なものの見方・表現方法が身につく、いざという時に協力し合える仲間がいる」。☆読書は一人でもできるけれど仲間がいるからこそできる読書があります。一緒に楽しみませんか？(ルナ)